

令和7年度 第2回 学校評価レポート： 伸びゆく「主体性」と、寄り添い支える「心のケア」



【成果】

大きく伸びた
「主体性」と「意欲」



係・委員会活動への
責任感が14pt向上



「自分たちの手でより良い学校を創る」という主体的かつ積極的な責任感が、児童の間で着実に定着しています。



授業への積極的な
取り組みが7pt向上



一人一台端末（ICT）の活用や保護スタイルの改善により、児童の学習に対する意欲と集中力が高まっています。

自ら動き出す
「主体性」の芽生え



教員から指示を待つのではなく、児童が自ら考えて行動する場面が学校生活のあらゆる場面で増加しています。

【課題と対策】

一人ひとりに寄り添う
「安心感」のある学校へ



悩み相談・充実感の低下
(-8pt) への
「個別支援の強化」

頑張りすぎによる「適応的な疲れ」に留意し、深刻な悩みを抱える前に専門スタッフや担任によるきめ細やかな個別フォローを実施します。



「学校が楽しい」の減少
(-8pt) への
「早期発見・早期対応」

否定的な回答が増えたことを重く受け止め、アンケートや日常の観察を通じて小さな変化をキャッチし、迅速なメンタルケアを行います。



家庭・地域との連携による
「安心感の醸成」

学校内だけでなく、家庭や地域社会と情報を共有し、多角的な視点で見守ることで、児童が自己を発揮できる心理的安全性を高めます。



目指す姿：一人ひとりが笑顔で自己を発揮できる学校

心理的安心感の向上



成果である「主体性」を維持しつつ、心のケアを並行して行うことで、誰もが安心して挑戦できる環境を整えます。

地域全体で見守る
「笑顔」のネットワーク



学校、家庭、地域が手を取り合うことで、児童一人ひとりの多様性を尊重し、笑顔を育む教育活動を推進します。

令和7年度 第2回 学校評価結果報告③

(児童アンケート：第1回と第2回の比較編)

1. 比較データ一覧

第1回と第2回の共通項目における肯定率(「そう思う」「ややそう思う」の合計割合)の比較は以下の通りです。

評価項目	第1回肯定率 (%)	第2回肯定率 (%)	増減(ポイント)
1. 進んであいさつ・返事をしている	96	91	△5
6. 悩みや困りごとを相談できている	74	66	△8
7. 人の話を聞き、考えを伝えている	85	81	△4
8. 授業にいっしょうけんめい取り組んでいる	85	92	+7
10. 家庭学習に、進んで取り組んでいる	85	79	△6
11. 体育や休み時間に進んで運動している	87	87	0
13. 係・当番・委員会に責任をもっている	78	92	+14
21. 学校は楽しい	90	82	△8

※ 肯定率は小数点第1位を四捨五入した整数表記です。※増減欄の「△」はマイナス(減少)を表しています。

2. 顕著な成果が見られる項目について

データ上で大きな改善が見られた項目について、その要因と意義を分析します。

◇ 係・当番・委員会活動への責任感(項目 13)の向上

肯定率が第1回の78%から92%へと14ポイント上昇しました。年度後半に向けて、係活動等の学級活動や委員会活動等の児童会活動が充実した結果と考えられます。「自分たちの手でより良い学校を創る」という主体的な責任感が定着してきたことは、本校の集団づくりの大きな教育的成果です。

◇ 授業への取り組み(項目 8)の改善

肯定率が第1回の85%から第2回では92%へと向上しました。このように前向きな姿勢を維持できているのは、ICTの効果的活用や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた不断の授業改善が、児童の学習意欲を支えた成果と考えます。

3. 抽出された課題と今後の懸念事項

データ上で低下が見られ、改善の取り組みが必要な項目について分析します。

◇ 相談体制の現状(項目 6)の低下

肯定率が74%から66%へ減少しました。児童が悩みや困りごとを抱えた際に、一人で抱え込ませないための「早期発見・早期対応」に向けた見守り体制について、今後も取り組んでいきます。

◇ 学校生活の充実度(項目 21)の変動

「学校は楽しい」の肯定率が90%から82%へ低下しました。「そう思わない」と答えた児童数が4名から12名へと3倍に増加していることに留意し、不登校傾向や深刻な悩みを抱える児童一人一人に寄り添って支援していく体制づくりに努めます。

4. まとめ

児童アンケートからは、着実な児童の主体的な成長が見られる一方で、それに伴う「適応的な疲れ」に今後留意していく必要があることがわかりました。今後、家庭・地域との連携をより一層深め、児童の意欲や満足感・充実感を高められる取り組みを工夫しながら、同時に心理的な安心感がある学校づくりに注力いたします。全職員が協働して、一人ひとりが笑顔で自己を発揮できる学校づくりを推進してまいります。